

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

教員氏名	岩部 純子
主な担当科目	バレエ指導法演習③
シラバス	<a href="#">ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。)</a> <a href="#">※画面下「シラバス」&gt;「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック</a>
2023年の教育目標・授業に臨む姿勢	上級学年については基礎を重視しつつ更なる技術・表現力の向上を目指し、難易度の高いテクニックも取り入れ単調ならないよう授業を行った。1, 2年次については入学時のレベルの差が大きいが、個々の課題を明確に伝え、それぞれが考えて授業を受けられるように配慮した。劣等感などを感じさず自分や他者と向き合えるように、言葉がけには特に注意して授業に臨んだ。
2023年の教育に関する自己評価	上級学年は一人一人との対話を重視することでモチベーションを維持することができた。課題と向き合って授業を受ける姿勢が見られ、下級生については人数が少ない上にレベル差が大きいため授業のレベル設定が年々難しくなっているが、授業が一方向的にならないように学生が注意をどのように受け取っているかを確認しながら進めることでレベルアップを図ることができた。
2023年のFD活動に関する自己評価	研修会には積極的に参加している。ただ参加するだけでなく積極的に意見を述べるとともに、ファシリテーターを務めることでより幅広い見識を得ることができた。
授業改善のために取り入れた研修内容	バレエコースにおいても学生が多様化が進んでおり、特に精神的に問題を抱えた学生への対応が難しくなっている。参加した多くのFD研修会で取り上げられているテーマである「多様な学生」への接し方については、特にFD全体会における分科会で、科目やコースが違う先生方の話を聞くことが出来る貴重な機会となっており、他の先生方の授業運用の仕方などを参考にしている。

## 2023年度(後期)「学生による授業アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2634 教員名:岩部 純子

### 1)アンケート結果に対する所見

授業への評価についてはすべて「そう思う」「少しそう思う」という評価であり、授業内容や授業の意図については概ね理解が得られていると考える。バレエの実技系授業については個々の技術レベルに応じたアドバイスや注意をすることが満足度の向上につながっていると推測する。

### 2)要望への対応・改善方策

アンケート内では特に要望はなかったが、バレエの場合、予習復習をするという感覚がそもそも薄いので、どのような方法があるのか、また効果的に授業を受ける方法なども伝えていく。

### 3)今後の課題

メンタル面でサポートが必要な学生が増加している現状を踏まえ、授業においてはバレエの技術指導だけでなく、学生の様子に配慮し、相談しやすい環境づくりを進めていくことで、授業への出席や取り組みの改善に繋げていく。

以上